

Sustainable Report No.063

OA機器の生産性向上で 地球温暖化を阻止

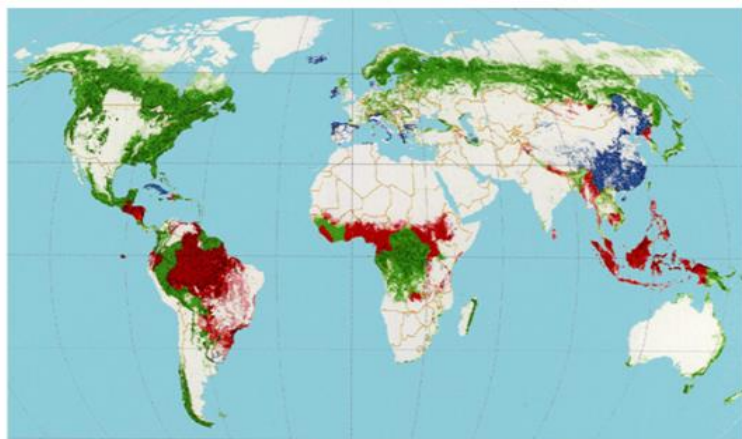


サステナブルレポートとは、サステナビリティを指標に社会課題や環境課題からテーマを選定し、それらの背景・ソリューション事例・将来への展望などを考察する独自の調査報告書です。
小川電機グループは、全従業員ひとりひとりが本レポートを作成・発信する取組みを行っています。

■ 課題の現状／経緯／影響

- 1990年から2020年の30年間に、**世界の森林は592万ha減少**した。その速度は、1時間に東京ドーム144個分の面積に相当する。
- **紙資源の消費は増加傾向**にあり、2021年には生産量上位国10位の内 9カ国が前年比プラスだった。上位3か国は、最大の生産国である中国をはじめ、米国、そして日本である。
- 大気中のCO2濃度を減らす森林の役割が損なわれ、**地球温暖化による気候変動**を加速している。

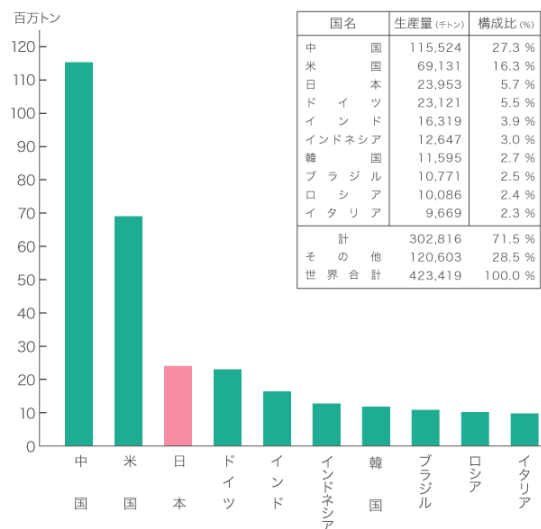
■ 世界の森林の増減



■ 森林の減少が目立つ地域 ■ 森林の増加が目立つ地域
■ 森林にわずかな増減がある地域 (年間 -0.5%~+0.5%)

出典：森林・林業学習館

■ 日米中の板紙生産高の推移 (千トン)



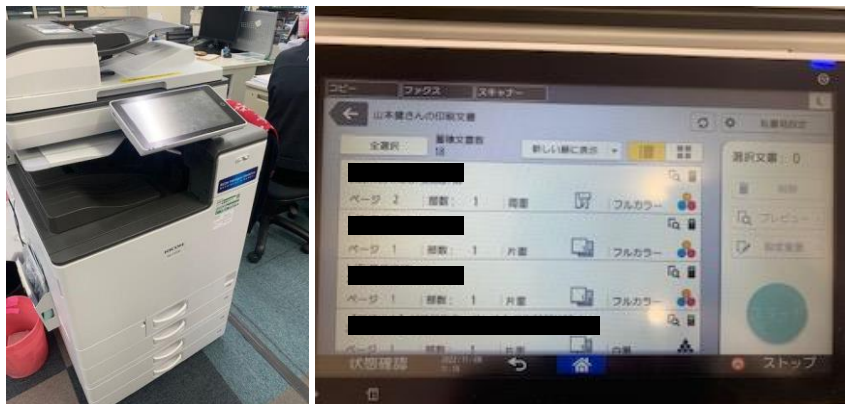
出典：RISIアニュアル・レビューをもとに古紙再生促進センター作成

▶ NEXT : OA機器導入後の生産性向上

■ 実行者／解決方法／残る課題

- オフィスにおける紙消費に影響を与えるOA機器は、直近10年ほどで複雑なデジタル化が進み、システム販売というより、**コンサルティングサービスとしてカスタマイズ**が一般的になっている。
- その機能は**総合的な利便性を追求**するものとなり、印刷データ蓄積、白黒印刷の基本設定、裏紙使用といった管理から、IDカードとの連携やオンラインツールでの回覧・申請などに広がっている。
- 目まぐるしい技術開発に対して、現場が全ての機能を一斉変更することは現実的ではない。「慣れない」「強引だ」「紙がマナー」といった不満を除く**段階的な運用移行が重要**である。

■ オフィスのOA機器



画像：筆者撮影（2022年11月9日）

■ コンサルティングサービス

メーカーが認定する販売店の
サービスマンである
カスタマーエンジニアが提供

FAX受発注のデータ管理
FAX注文をデータ管理し、納期回答を
入力・返信できるアプリケーションの提案

大判プリンターと複合機の連携
複合機のスキヤナー機能で図面を読み込み拡大。
A2やA1サイズで大判プリンターから出力。
(外注費削減、トナー消耗品の注文が発生)

▶ NEXT：複合機の未来は人の心を保つコミュニケーションから

■ 弊害の原因／理想／企業施策

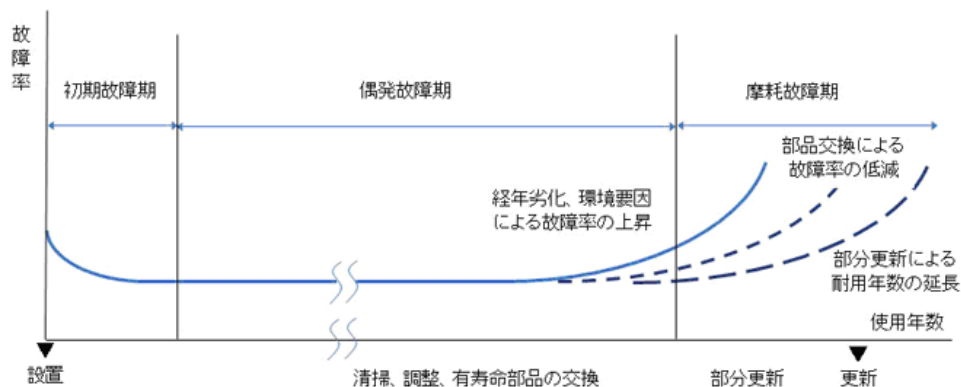
- 導入時から廃棄に至るまでの**故障率が高い時期**のコンタクトは、対応次第で機械やサービスマンに不満が高まってしまう可能性がある。
- サービスマンから**カスタマーエンジニア（CE）**へ引き継ぎ、導入後の設定にとどまらず**運用の提案**や変更に対応することが理想である。
- **メーカーの協力**も得ることで、大幅な変更に対する説明会の実施や、操作をフォローする訪問機会を増やすことができ、不満や不安が解消するまでしっかりお客様と現状に向き合うことができる。

■ カスタマーエンジニアに相談



イラスト：写真ACの素材をもとに筆者編集

■ バスタブ曲線（故障率曲線）



出典：厚生労働省

本レポートをご覧いただき、ありがとうございました

■ 参照・引用資料

- 森林・林業学習館, 「世界の森林の減少速度」, 2023年6月5日参照 (https://www.shinrin-ringyou.com/forest_world/menseki_gensyou.php)
- 日本製紙連合会, 「世界の中の日本」, 2023年6月5日参照 (<https://www.jpa.gr.jp/states/global-view/index.html>)
- 厚生労働省, 「安全衛生キーワード」, 2023年6月5日参照 (https://anzeninfo.mhlw.go.jp/yougo/yougo59_1.html)

■ サステナブルレポートに関するお問い合わせ先



小川電機株式会社

〒545-0021 大阪府大阪市阿倍野区阪南町2丁目2番4号

tel:06-6621-0031(代)

- 本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。
- 本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。
- 本レポートの配信に関して閲覧した方が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。
- 本レポートに関する知的所有権は株式会社小川電機に帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。